



学校だより



2020年8月28日

横浜市立港南台第一小学校

9月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp

Tel 832-0210

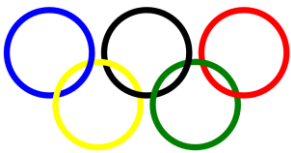
Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandai/>

「戦後75年 平和について考える」

校長 瀧田 健二

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。今年度の夏休みは約2週間と例年になく短いものになってしまいましたが、登校した子ども一人ひとりの笑顔に、短いながらも充実した夏休みを過ごせたことが表れていました。無事に夏休みを終えることができたのも保護者や地域の皆様に温かく見守っていただいたおかげです。ありがとうございました。



このマークは皆さんご存じですね。オリンピックのシンボルマークです。オリンピックは、4年に一度行われるスポーツのお祭りです。このマークには、5つの輪が描かれています。この5つの輪は、世界にある5つの大陸の「アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ、オセアニア」を表しています。

それがつながって「世界が1つになっている」ということを示しているのです。本来ならば今年の夏に「東京オリンピック2020」が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のために延期になってしまいました。「2020+1」で来年開催できることを切に願っています。この「+1（プラスワン）」は単なる1年の延期ではなく、追加される新たな1年です。様々な場面で「+1」となれるよう、全世界が心をつながってがんばっていく必要があると思いました。

さて、このオリンピックというのは、いつ、どこで始まったでしょう。実は、今から2800年くらい前にギリシャという国で始まったと言われています。オリンピックという名前になった由来は、ギリシャの「オリンピア地方で始まったから」というのが有力な説です。大昔のギリシャでは、オリンピックのある年は戦争をしても、戦争をするのをやめてオリンピックに参加しなければならなかったそうです。オリンピックが「スポーツのお祭り」だけでなく、「平和のお祭り」でもあるのは、こんなところに理由があるのです。

ここで「平和」について少し考えてみたいと思います。今年には日本の戦後75年です。毎年テレビなどでは、8月になると戦争に関する番組やニュースが多くなります。8月15日が太平洋戦争の終戦日だからです。8月6日に広島へ、9日に長崎へ原子爆弾が投下されました。多くの民間人が犠牲になりました。その後も浴びた放射線で命を失う方が多くいました。私事ですが、私は広島市で生まれ育ちました。私の両親は戦争当時、広島市内に住んでいましたので、二人とも被曝しています。（幸いにも現在も元気です。）75年という間、日本は戦争をしていません。憲法にも「戦争放棄」を第9条に掲げています。



しかし、現在も世界のどこかで紛争は絶えず起こっています。75年の間、戦争から遠ざかっていた日本は、少し意識が薄れてきているかもしれません。

現在、戦後生まれの世代が多くなったため、戦争についての話をする機会が殆どなくなり、未来の子どもたちに伝える内容すらわからない状況になってきましたが、今一度平和について、ゆっくり考える時間が本当に必要なのだと思います。戦争経験者の直接の体験談を聞くことのできるのも限られた時間です。その後は間接的に体験談を継承する時がやってきます。それでも戦争の体験談は未来の子どもたちに継承していかなければならないと思います。私も幼いころから両親に戦争の話、原爆の話を聞かされてきました。これらの体験は決して風化させてはならないのです。

一小 スクール ライフ

《朝のあいさつ運動》

本校の委員会活動の中にある「にじのはし委員会」(人権委員会)では、誰もが安心して学校生活を送れるようにするための取組の一つとして、「朝のあいさつ運動」をすることにしました。あいさつを交わすことで、心と心をつなげよう、そして、気持ちよく生活のスタートをきれるようにしようと、毎週、月・水・木・金曜日の朝に緑門の前に立って活動しています。

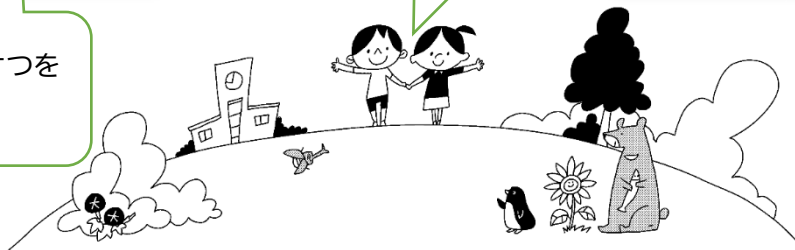


こんな時だからこそ、あいさつを大切にしたいです。

おはようございます！



たくさんの方が、あいさつを返してくれました。



私たちよりも先に、あいさつしてくれる人もいました。

初めは緊張したけど、声を出してよかったと思えるようになりました。



にじのはし委員会では、第一小学校の児童会スローガンにもある「笑顔の花を満開にしよう」という願いに、委員会としてどのように関わっていくかを話し合っています。

今後は、心と心をつなぐための取組として、「あいさつ運動」の他に、言われて嬉しくなる言葉を階段に掲示する「階段一言キャンペーン」や、友達に対する温かい声かけと関わりの意識を高める「ふわふわ大作戦(仮)」、世界にも目を向け自分たちにできることを考える「ユニセフ活動」を計画しています。

これらの活動で、たくさんの「笑顔の花」が咲かせられるように、にじのはし委員会からたっぷりの栄養を全校のみんなに届けたいと思います。

感染予防に努めながら、「みんなと一緒にだからできる」「みんなと一緒にだからがんばれる」を大切に、教育活動に取り組んでいます。

1年 給食



5組 保健

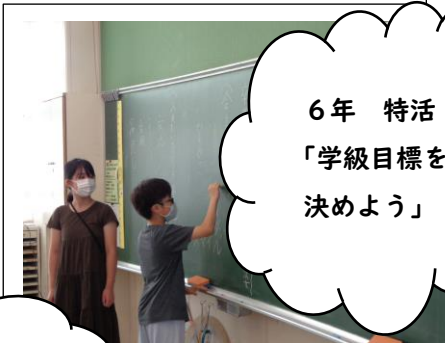
「いのちの学習」



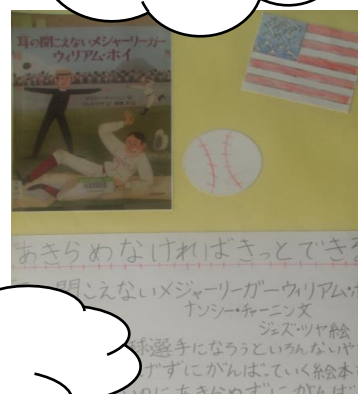
3年 算数
「わり算」



6年 特活
「学級目標を決めよう」



4年 国語
「読んだ本を紹介しよう」



5年 国語
「討論会をしよう」



2年 図工
「キラキラしゃぼん」



一小 ほっとスペース ～児童支援専任からのお知らせ～

毎朝、昇降口前であいさつをしていると気付くことがあります。低学年や中学年の児童は大きな声で「おはようございます」と言ってくれることが多いのですが、高学年は声よりも態度が育ってきていると感じます。目を見て軽く会釈をしてくれたり、微笑んでくれたりします。そういった場面で成長を感じることができてとてもうれしくなります。よき第一小の伝統が受け継がれていると思います。これからもこの伝統を受け継いでいってほしいです。

9月の一冊



『ルドルフとイッパイアッテナ』
齊藤 洋 作 講談社

「一小スポーツフェスティバル」来賓のご招待について

10月17日(土)に令和2年度の運動会「一小スポーツフェスティバル」を予定しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、来賓のご招待を縮小させていただきます。たいへん残念ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

飼猫のルドルフは野良猫の親分イッパイアッテナから文字の読み書きを教わります。ルドルフと一緒にのらねこ生活を楽しんでみませんか。